

リベンジなるか？播磨町のシニア達が全国へ挑戦！

播磨ヤマトソフトボールクラブが全国大会に出場しました

9月21日から23日にかけて開催された第19回全国ハイシニアソフトボール大会に、播磨ヤマトソフトボールクラブが出場しました。

昨年の第18回全国ハイシニアソフトボール大会にも出場されましたが惜しくも敗退。しかし、リベンジを果たすために今年も全国大会に出場！

大会出場前に佐伯町長へ表敬訪問されました。町長から「2年連続出場、誠におめでとうございます。けがに気を付けて、全国制覇を掴み取ってください。良い報告をお待ちしております」と激励を受けました。また、キャプテンから大会への意気込みを語っていただきました。



▲「遊球感謝」の志とともに全国へ

企画課秘書広報係 079-435-0356

みんなで話し合う、協働のまちづくり

「町長と語ろう オープンミーティング」を実施しました

8月に実施された2会場のオープンミーティングの様子をお伝えします。

8月17日(土)午前10時～11時30分 西部コミセン 参加者 約15人



参加者 ごみステーションのマナーが守られていない。今後の対策は。

町長 ごみステーションの在り方は町にとっても重要な課題である。皆さまには、美化清掃に引き続き御理解と御協力をいただきたい。また、ほとんどのごみステーションには見守りカメラを設置する予定である。

参加者 播磨臨海地域道路の計画実現に伴い、町内も交通量が多くなることが懸念される。整備計画に応じて交通安全のための対策をしてほしい。

参加者 独居の高齢者が地域と繋がりを保持するよう、行事などに参加しやすい仕組みが必要。機会をつくっても参加者が少なければその意義は小さい。

町長 外出しにくい高齢者には、アウトリーチ型として保健師などが積極的に訪問して状況を把握し、個々人ごとのような対応が必要かを検討していく仕組みづくりを進めている。また、自治会においても地域コミュニティの活性化を図るために、多くの人が集える居場所を開放するなど、検討していただきたい。

参加者 不登校対策について。

町長 今は、不登校であっても適切な教育を受けられる機会を整備するという方向にシフトしている。不登校の生徒が社会と関わる機会について選択肢を増やし、行政も主体的に関わっていく。成人後、引きこもりにならないように、今の段階から行政や地域が関わっていく必要がある。

8月24日(土)午前10時～11時30分 野添コミセン 参加者 約15人

参加者 JRR土山駅周辺の開発について。

町長 線路の高架については費用と年数がかなりかかるので、駅周辺のまちづくりを優先し、整備することが大切であると考えている。駅周辺の活性化によって町の税収も増え、福祉や教育など、多くの施策の充実に

播磨西小学校にボクシング46kg級王者が誕生！

山崎銀次郎さんが全国大会で優勝

8月24日から25日にかけて茨城県水戸市で開催された第11回全日本UJボクシング王座決定戦に、山崎銀次郎さん(播磨西小学校6年)が出場されました。



▲今後も楽しみです

山崎さんは、厳しい選考の後、西日本代表として全国大会へ出場されました。決勝の試合では、3ラウンド目により勝利。見事に全国制覇を成し遂げました。誠にありがとうございます。

山崎さんからは「毎日指導してくれる先生、いつも応援、サポートしてくれる方々のおかげで優勝できました。これからも楽しみながら全力で世界一を目指します。播磨町の皆さんに、応援していただけたら嬉しいです！」と元気いっぱいコメントをいただきました。

企画課秘書広報係 079-435-0356

戦没者のご冥福と恒久平和を祈念しました

播磨町戦没者追悼平和祈念式と平和展

9月28日、中央公民館大ホールで播磨町戦没者追悼平和祈念式を執り行いました。式典では、来賓や参列者による献花や、町内小学生児童による平和の詩の朗読が行われ、戦争で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、恒久平和の実現を祈念しました。

中央公民館ロビーおよび図書館2階では、9月24日から30日まで平和展を開催しました。また、土山駅南交流スペース(きつづなホール)では、9月26日から30日まで平和学習アニメの上映を行いました。平和展には、約660人、アニメの上映には205人の人が訪れました。

健康福祉課地域福祉係 079-435-0311
協働推進課住民協働係 079-435-2364



▲戦没者への追悼と平和を祈念しました

▲小学生による朗読

図ることができる。

参加者 道路標識の表示が見にくくなっている箇所がある。修繕してほしい。

町長 町所管分は随時修繕している。町所管であれば修繕し、県所管であれば迅速に県に伝える。

参加者 コミュニティバスを運行してほしい。

町長 令和5年度に公共交通についての意見交換会やアンケート調査を行い、計画を策定した。その計画に基づき、だれもが利用しやすい公共交通のあり方を検討していく。



参加者 保育園待機児童対策について。

町長 令和7年度に向けて播磨保育園が園舎増築工事を行い、また令和8年度に新しく民間保育施設(定員90人)が開設予定である。

有識者による子育て支援策検討会議を開き、待機児童約150人(隠れ待機児童含む)をなくすことを目指している。特に0～2歳の待機児童が多いので、小規模保育園も増やしていきたい。